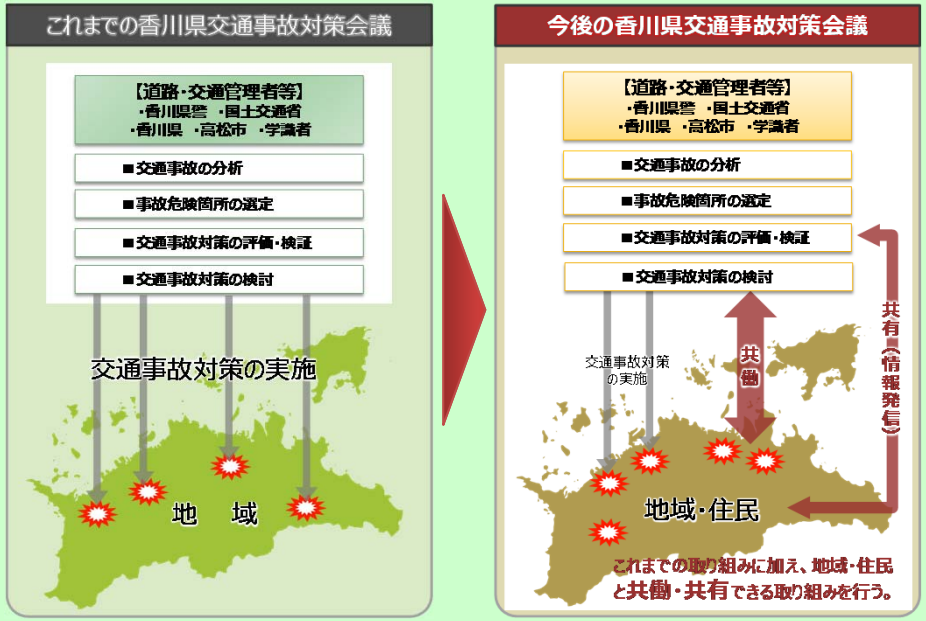
第15回　香川県交通事故対策会議　会議概要

H29.6.28

○香川県交通事故対策会議の新たな取り組み

○ これまでの道路管理者側からの取り組みに加え、地域・住民と共に交通事故について共働・共有しながら取り組みを実施。

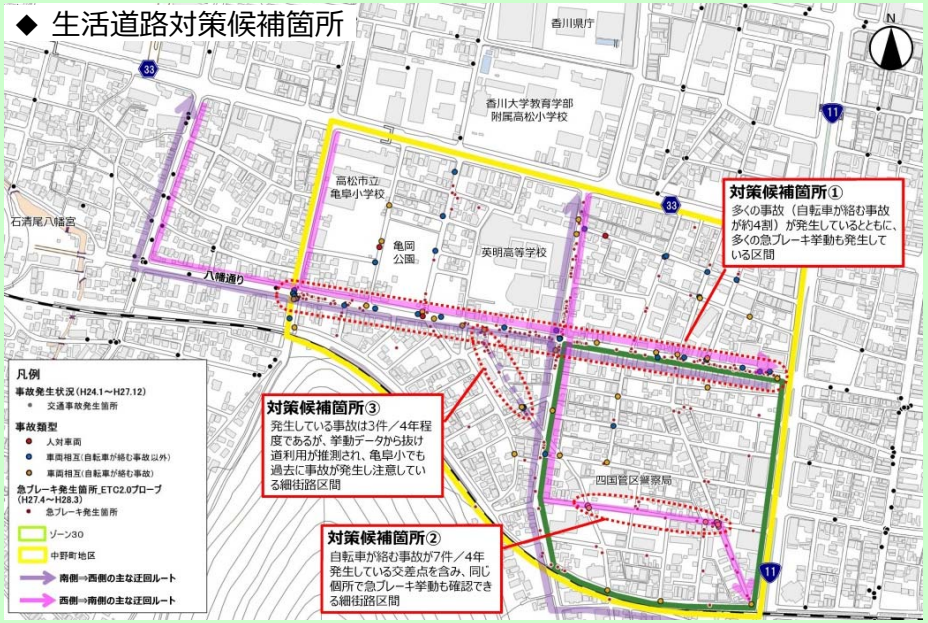


新たな取り組み①	地域・住民と交通事故について**共働で考える**取り組み
新たな取り組み②	地域・住民と交通事故について**情報を共有する**取り組み

○高松市中野町地区における生活道路対策検討

【検討内容】

昨年度、登録された生活道路対策エリア「高松市中野町地区」において、交通事故データやETC2.0プローブデータによる急ブレーキ発生箇所・抜け道経路の分析から生活道路対策候補箇所を選定し、ビデオ観測による危険事象の確認や、エリアを校区とする小中学校へのヒアリング調査から事故発生要因を分析し、事故対策案を検討。



○事故危険箇所の対策検討

【検討内容】

昨年度、選定した直轄国道40箇所の事故危険箇所において、事故発生要因分析を行い、事故危険箇所ごとに事故対策案を検討。

○重大事故対策の検討

【検討内容】

重大事故（重傷・死亡）に着目し、イタルダデータを用い重大事故対策箇所５箇所を選定し、現地調査による沿道状況や交通状況から、事故発生要因を分析し、事故対策案を検討。

事故対策会議は、香川県における交通事故抑止対策をより効果的・効率的に実施するため、主として直轄国道を対象とする対策箇所について選択と集中の観点で厳格に選定し、その選定箇所の事故発生要因を調査・分析、対策の立案・実施および、対策の検証・評価等を行うとともに、必要に応じて他の道路へ拡大することを目的として設置している。